

中小企業景況状況

射水商工会議所管内（新湊地区）における中小企業の景気動向を定期的に把握し、情報の提供並びに射水商工会議所が行う経営支援の基礎資料に資するため、四半期毎に定点観測を実施する。第1回目として、平成28年4～6月期実績および平成28年7～9月期見通しを対象期間として調査した。

《回答企業内訳及び回答率》

業種	対象企業数	回答企業数	回答率 (%)
製造業	10	10	100%
建設業	10	10	100%
小売業	10	10	100%
サービス業	10	10	100%
卸売業	10	10	100%
合計	50	50	100%

《概況》

製造業は、売上高は減少しているが、業況は横ばいで推移している。今後は緩やかに悪化する見通しである。建設業は、完成工事額の増加がみられ、現在の業況はやや悪いが、今後は好転していく見通しである。小売業は、客数が増加に転じ、客単価の下げ止まりがみられる。現在の業況は、やや悪いが、今後は緩やかに好転していく見通しである。サービス業は、前年度より利用客数の大幅な減少により売上高が減少しており、厳しい業況である。今後も緩やかに悪化の見通しである。卸売業の業績は、売上額の減少や商品仕入単価の上昇により悪化しているが、今後は回復していく見込みである。全産業を総じて、売上（収入）額は減少し、業況は悪いが、来期（平成28年7～9月）より好転する見通しである。

- [・全産業](#)
- [・製造業](#)
- [・建設業](#)
- [・小売業](#)
- [・サービス業](#)
- [・卸売業](#)